



まるちゃん家に来れないご家庭へは主任児童委員さんや子育て支援課相談係、社協さんと連携しお渡ししています。

企業名食材寄付
支援金寄付 協賛店
会社・個人名報告一覧は
ホームページ・Facebookにて
ご紹介しています

北九州の大学生とコラボ☆交流会 子ども食堂ネットワーク北九州学生会県外研修事業で4つの大学の学生さんが天草へ！

2021年11月13日14日に、北九州の大学の学生さんとのコラボ企画で天草の高校生ボランティアにも協力してもらい、勉強会やお楽しみイベント、制作体験会を開催しました。



感想（スペースの都合で一部のみの掲載です）

子ども達

- ・コロナであまりイベントをすることがなかったけどみんなで仲良くできてよかったです。
- ・高校生とおさんぼして手をつなぎました。たのしかったです。鬼ごっこもたのしかったです。
- ・大学生のみなさんと一緒に、料理をした時に、明るくなるように、とても、優しく接してくださってとてもうれしかったです。市民センターでやった秋まつりで、かたぬきやおかしとり、ヨーヨーつりなど、私たちが楽しめるようにしてくださっていてとてもびっくりしました。今度は私たちが、何かしてあげたいと思いました。
- ・最初は、きんちょうしたけど、みんなといっしょにいっぱいあそべたのでよかったです。友だちがふえていてよかったです。北九州学生のみなさんと、シャボン玉をしたりバレーをしたり料理をしたりしてとてもとても楽しかったです。友だちをふやすのは、とてもいいことなのでもっともっと友だちを増やしていきたいなと思います。ありがとうございました。
- ・北九州から来てくださっているいろいろ遊ぶこともできまし、わざわざぼくたちのために、水風せんを持って鬼になって鬼たいじをびしょびしょになって寒くてもしてくれてとても楽しかったです。
- ・カレーがおいしかったです。大学生の人たちといっしょにあそべたのしかったです。
- ・よーよーとたまいれとわなげとしゃてきとピンポンカップインとおかしつりがたのしかったです。

高校生

- ・将来子供と関わる仕事につきたいと思っているので、このような良い体験ができて良かったです。みんな元気でかわいくてボランティア 楽しかったです。ありがとうございました。
- ・小さい子とふれあったり、ヨーヨーをつくったり、普段できないことができて楽しかったです。
- ・小さい子とのふれあいは経験が少なく緊張したけど、「お姉ちゃんがいい！」って言ってくれたときは、涙が出そうなくらいうれしかったです。
- ・調理の手伝いや子どもと遊ぶことができてとても楽しかったです。普段あまり調理をしないので不安だったけどちゃんとできたのでよかったです。また参加したいです。

保護者

- ・短時間ですが、子ども達を喜ばせよう、一緒に楽しもうという気持ちが伝わってきました。娘の楽しそうな笑顔が忘れられません。また天草に来てほしいです。
- ・いつも美味しい食事や交流をする機会を作って頂きありがとうございます。いつか私も子ども達も年月がすぎたら、ボランティアをする側になりたいと思います。ありがとうございました。

大学生

- ・今回の研修を通して身近な場所でなく、地域をはなれてやることで違うことを感じる事ができいい貴重な経験になった。
- ・天草の子ども達はみんな笑顔で楽しそうで私まで元気いっぱいになりました！また、ぜひ一緒に楽しみましょう！
- ・2日間とても充実していて自分自身色々なことを学ぶことができたと思います。子どもたちとの触れ合いを通してたくさんの経験ができてよかったです。本当に楽しくて普段あまり会話することのない子供たちと色々な話ができてうれしかったです。遊びや準備した企画が成功した時子供たちと触れ合うことがこんなに達成感というかやりきった感を感じることができて自分自身少しは成長できたんじゃないかと思っています。

夏休み☆そうめん流し体験♡

2021年7月に、そうめん流し会を開催しました。

感想

・家ですとなると大掛かりでなかなかできないそうめん流しなので、参加させて頂けて嬉しかったです。

・竹でのそうめん流しは、なかなか体験させられないので有り難かったです。

・まるちゃん家の方々も皆さん優しく初めての体験だったけど行ってみて良かった。

・子ども...最初は流れてくるのをとるのが難しかったけど、楽しかったです。金魚つかみとシャボン玉、スーパーボールすくいも楽しかったです！
・親...私自身は、おかずのレシピを教えてもらえて嬉しかったです。



体験イベント開催！

美味しいお野菜収穫体験♪

2021年5月、6月にじゃがいも、玉ねぎの収穫体験をしました。

収穫したお野菜は調理でおかずに変身♪残りはパントリーでお渡し♪



クラフト制作体験☆

2021年11月に小物入れのクラフト制作体験を行いました。

●参加保護者の感想

子どもの年齢に合わせて細かい準備をして下さり、子どもたちも楽しく参加させていただきました。帰宅後すぐに、夫や従兄弟に自慢し、とても嬉しそうでした。いつも見えるところに置いて大切に使っています。ありがとうございます。



●講師のことば

クラフトバント講座を開催して、高学年には少し物足りないかもしれないけど、今回はちっちゃい子どもたちに標準を合わせてキットの準備をしました。それでも時間がいっぱいいっぱい教えてくれる方としては余裕が無かったです。でも完成したペンギンやうさぎはそれぞれ個性がありみんな笑顔で癒されました。企画してくれた松田さんをはじめお手伝い頂いたスタッフの皆さんありがとうございました。

まるちゃん家開放DAY！



夏休み期間中、子ども達に楽しい時間を過ごしてほしいと思い開放DAYを行いました！

開放DAYをお手伝いいただいたスタッフT.Mさんより

木原さんから「昨年の夏休みから一軒家を借りることができ、子供達に開放する事が出来るので一緒にお手伝いしていただけないか」とお話を頂きました。私事です以前子供達と関わる仕事をしていたせい、迷いもなく二つ返事でお受けさせて頂きました。お受けしたものの不安でいっぱいでした。しかし来てくれた子供達がとても良い子で、すぐに打ち解けてくれました。部屋も消毒・ソーシャルディスタンスなどよく考えられてあり、とても心地よく過ごせました。コロナ禍で2回切りで終わってしまったのですが、残念でたまりませんでした。子供達が人との繋がりを大切に思っている事を知る事が出来ました。子供達をお世話するのではなくいつの間にか子供達からお世話してもらっていました。テレビでよく耳にします。学校に行こうと思っても行けない子が沢山いらっしゃいます。そんな子達が半歩でも一歩でも学校に行きたい気持ちになってくれたら私はとても幸せな気分になります。子供達が心の扉を開けてくれる場所があるという事を沢山の親子さんに知っていただきたい。子供達のことを一番考えてくれる。そんなまるちゃん家のスタッフさんにありがとうと感謝です。これからも皆さんで助け合って頑張ってください！

木原のつぶやき

「まるちゃん家」あつという間に今年の3月21日、5年目に突入です。2年目の後半にコロナ禍に。ピンチをチャンスに変えることでコロナ禍でも活動できていること。仲間達や支援していただいている方々の存在のお蔭様に感謝の気持ちでいっぱいの毎日です。「当たり前は一つ無い」コロナ禍だけでなく自然災害等からも沢山の気づき、学びがありました。まるちゃん家は2019年4月～2022年3月の3年間、内閣府の子供の未来応援基金の助成金を得ることができました。コロナ禍の中でも中止にすることなく運営ができたのはこの助成金を運よく採択されていたからだと思っています。4月からはこの助成金無しでの活動になります。なので物販をしたり運営資金の確保に向けて計画中です。立ち上げ時、天草に「子ども達の居場所を作りたい」と勉強の為、他県も含め実際に運営されている所へ視察に行っていました。継続していくには「資金・場所・人」の確保が課題になる。「最初は良くても維持ができなくなって止めることになる」と視察先の代表者の方々の共通の声。まるちゃん家も「踏ん張りどころ」の年になると思っています。「もったいない！」を「誰かのありがとうに♪」食品ロスの削減（SDGsの取り組み）にも繋がるので「フードバンク」を天草にもという思いがあります。コロナ禍が落ち着いて本来の活動に戻れた時、まるちゃん家に来れる親子さんと来れない親子さんがいます。本中校区だけでなく校区外の地区の親子さん方の対応もしています。その方々へのサポートを継続できるようにするためにも、フードバンクを立ち上げることでフードパントリー活動が天草全域で取り組めると思います。この取り組みが各町（旧市町村）にあると、高齢者の1人暮らしの方々や地域サロン等にもサポートができます。天草は広範囲。それぞれの地域の公民館等にてフードパントリーができるとご近所さん達と「食をきっかけにしたコミュニケーションの場」にも発展すると思います。地域のコミュニティ作りも強化が必要と感じていますので、多世代交流の場となり其々の地区の伝承活動も可能にしていけると思います。先日、持病を患っているシングルマザーの方が、「もし私に何かあったら

この子はどうなるかと思うと死んでも死にきれない。」県外から嫁いで来られた方だったので頼れる人、お願いできる人がいないとおっしゃっていました。「だからこそ、ご近所の方々と顔見知りになるの大事だと思う。」「顔見知りになってたら何かあった時、〇〇君を見守ることができるけん！」「まるちゃん家があるけん！」「お父さんが自分で自分の事ができるようになるよう、色々な事ができるように体験、経験させていこうよ！」お母さんは涙を流して「うん。うん。」と頷かれていました。

「気に掛ける。微笑みかける。声を掛ける。」3つの振り掛けと「目配り・気配り・心配り」の輪を天草いっぱいにと願って皆さんのお力をお借りしながらできることで動いていきたい。子どもを産み育てやすい天草にしていけないと少子化は止まらないと思います。10年先、20年先の天草を見据えて、今、動いていけるとゆくゆく「納税者が居なくなる。」若者達のいない天草になっていく。「地域で子育て♪」これが後々、天草を支える子ども達の誕生に繋がると思います。否、繋げる為に必要だと思います。自分を見守ってくれた町に、自分を育ててくれた町に「恩返し」「恩送り」のご縁のめぐりと思うのです。自分の今いる場所で「できることを・できる時に・できる人たちで・できたしこ♪」人生の先輩方のお力添えが必要です。応援していただけると心強いです。また、私達の活動は2つの目的があります。「地域活性化・地域多世代交流拠点」と「ひとり親世帯の親子の見守り・サポート」。このひとり親世帯の親子のサポートに対してのいろんなご意見をいただきます。どうか温かく見守っていただけると幸いです。誰も子どもだった頃があります。子ども時代があり親に育てられています。子育てって自分が育ってきた環境がベースになると思います。テレビで事件になっている虐待のニュースも然り。この親達が子どもの時にどういう環境で育ってきたのか。そう思うと「親を責めても解決にはならない。」地域で家庭を見守る事が一番ではないか。毎年、児童養護施設訪問の際に、「子どもに罪はない」という思いにつきます。温かい子育て環境を地域で作れたらという想いの原点です。